

# 障害福祉サービス費等の請求に係る審査について

## 1. 請求審査の概要

障害福祉サービス等事業所が国保連にあげる請求について、国保連が機械による一次審査を行い、国保連では判断のつかないものについて市町村が二次審査を行います。二次審査期間中には市町村から事業所へ確認の連絡をさせていただくことがあります。

## 2. 審査結果について

障害福祉サービス費等の請求でエラーが発生した場合に、国保連から「返戻等一覧表」が通知されます。「返戻等一覧表」には、返戻エラーとなった請求が記載されており障害福祉サービス費等の支払いが行われていないため、必要に応じて訂正等を行い再度国保連に請求する必要があります。

## 3. 令和6年度発生件数の多かった返戻エラーについて

令和6年度受付分の請求において、発生件数の多かった返戻エラー（サービス費の支払いが行われていないもの）は下記の通りです。

コード	メッセージ	原因	対応法
ED01	該当の請求情報はすでに支払い済みです	過去に同一受給者の支払いが確定している	どちらが正しい請求か確認。過去の請求に取り下げが必要な場合、市町村へ過誤申し立てを行う
EG12	受給者台帳にサービス提供年月時点で有効な受給者の利用者負担上限月額が登録されていません	受給者台帳に登録されている利用者負担上限月額有効期間外のサービス提供年月で請求されている	受給者証の「負担上限月額/適用期間」を確認し、請求内容が正しければ市町村に状況の確認を行う
EH12	受給者台帳にサービス提供年月時点で有効な受給者の支給決定情報が登録されていません	受給者台帳に登録されている支給決定有効期間外のサービス提供年月で請求されている	受給者証の「サービス種別」「支給決定期間」を確認し、請求内容が正しければ市町村に状況の確認を行う

PP19	実績記録表に該当するサービスが請求明細書に存在していません	請求明細書が返戻となった請求明細書の請求が漏れた	請求明細書が返戻となったのか、請求が漏れたのか確認を行う
------	-------------------------------	--------------------------	------------------------------

#### 4. 令和6年度発生件数の多かった警告エラーについて

令和6年度受付分の請求において発生件数の多かった警告エラー(市町村が二次審査を行うもの)については、下記のとおりです。

コード	メッセージ	原因
EG26	請求情報の利用者負担上限月額が受給者台帳の「利用者負担上限月額」と一致していません	請求明細書「利用者負担上限月額」の金額と市町村が登録した受給者台帳の金額が不一致
EG40	実績記録票の「算定時間数」が受給者台帳の「1回当たりの最大提供量」を超えています	実績記録表のサービス提供量が、市町村が登録した受給者台帳の決定支給量を超えている
PP04	請求明細書のサービス提供量の合計及び「契約支給量」の合計が受給者台帳の「決定支給量」を超えています	サービス提供量及び契約支給量が、市町村が登録した受給者台帳の決定支給量を超えている
PB35	受給者台帳の「障害支援区分」の登録内容に該当する請求ではありません	請求明細書の請求サービス(障害支援区分)と市町村が登録した受給者台帳の障害支援区分が一致していない

# 過誤とは・・・

月ごとの請求で、支払額が確定した給付費に関して、  
誤りがあったとして~~全額~~を一旦返金し、再請求するための準備



事業者番号、受給者番号、サービス提供月で  
一つとなっている請求の全て

過誤だけだと・・・対象の支払いが~~なかったことになっている~~ので、  
事業所の収入が減ったまま

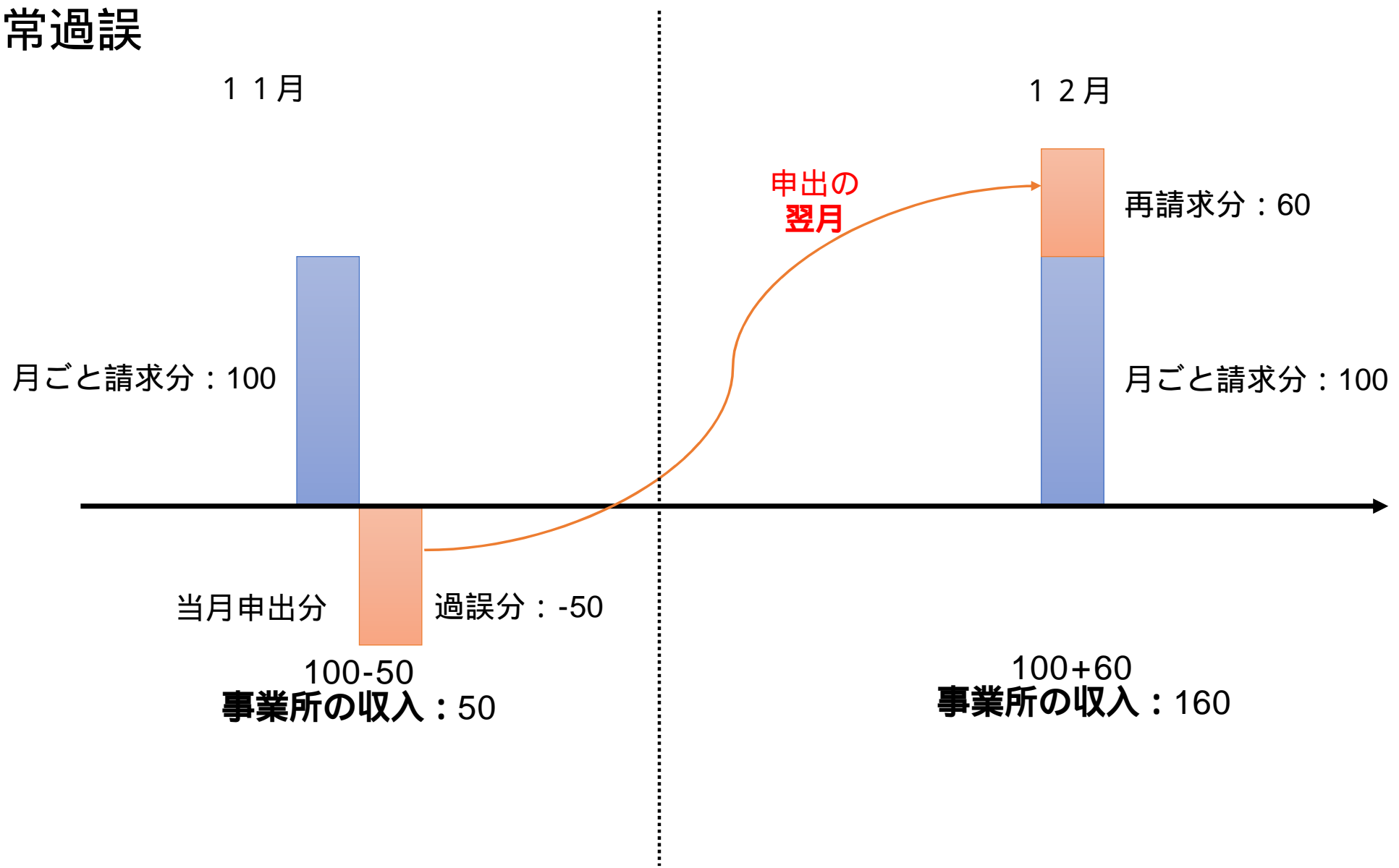
返戻との違い・・・返戻は、月ごとの請求で、支払いが確定していない  
給付費を支払わずに後日改めて請求するもの

## 過誤の方法は2種類

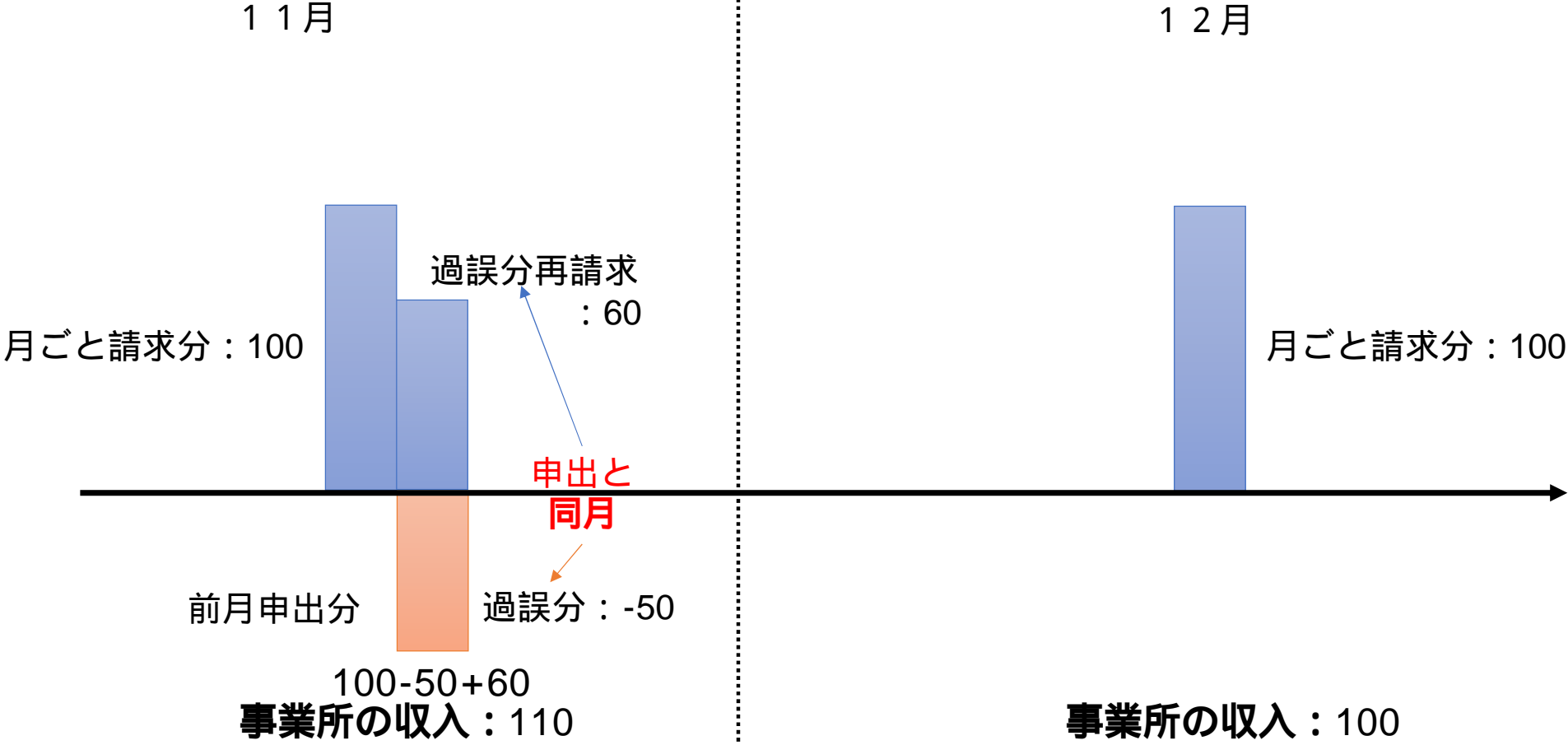
通常過誤・・・~~当月5日~~までに申出、該当分は翌月に請求

同月過誤・・・~~前月25日~~までに申出、該当分は同月に請求

# 通常過誤



# 同月過誤



### (3) 各処理の注意点について(続き)

#### ③同月過誤調整処理について

1) 過誤処理を行いたい場合、原則通常過誤としてください。

通常過誤によって事業所の経営状況に大きな影響を及ぼす、または再請求データの提出期限が市町で定められている、などのやむを得ない場合に限り、同月過誤を行うようにしてください。

2) 同月過誤を行うにあたり、市町と事業所における事前調整の際に、以下のことについて必ずご確認をお願いいたします。

- ・同月過誤の流れ(過誤申立から支払までの流れ)

- ・同月過誤を行う月

⇒事業所が再請求データを国保連合会に提出するタイミングを間違えているケースが見受けられます。処理月についての確認をお願いいたします。

- ・同月過誤を行う受給者の情報(受給者証番号、受給者氏名、サービス提供年月)

⇒市町から受領した同月過誤データと事業所からの再請求データに差異があるケースが見受けられます。

- ・同月過誤によって、事業所への支払額がマイナスになる可能性があること

### (3) 各処理の注意点について(続き)

3) 同月過誤依頼書の作成の際は、受給者番号の昇順でまとめて記載ください。

例: 受給者番号2000000001の国保 太郎さんのR5.1月～R5.2月サービス提供分

受給者番号2000000002の国保 花子さんのR4.12月サービス提供分

受給者番号	サービス提供年月	申立事由	取下げ金額 (円)
受給者氏名			
2000000001	R5.1月	重度障害者Ⅱの算定要件を満たしていないため	300,000
国保 太郎			
2000000001	R5.2月	重度障害者Ⅱの算定要件を満たしていないため	300,000
国保 太郎			
2000000002	R4.12月	重度障害者Ⅱの算定要件を満たしていないため	400,000
国保 花子			

上記のような順番で作成されていない場合、Excelデータで一覧表の作成を依頼させていただく場合もございます。